

「賀川豊彦のお宝発見」その3

新聞記事にみる賀川豊彦 (47)

1910 (明治43) 年~1963 (昭和38) 年 (神戸版)

第41回 「神戸生協35周年」「尼崎市世界平和都市宣言」

「神戸生協創立35周年記念式」

1956 (昭和31) 年11月26日「神戸新聞」



が樂り、創立以来の苦心談、失敗談あれこれを語りあった。賀川氏は「協同組合運動も英國にみられるように家具や労働服の自己生産にまでこぎつけねばならない。労働金庫を中心とする生命保険共済を行い、余剰金で働く人の住宅を建て、生活協同組合を育てる資金としたい。だが、このためには私の命は足りないから、若い人たちがしっかりやって下さい」と呼びかけた。

「尼崎市世界平和都市宣言」
 1957（昭和32）年
 6月4日「神戸新聞」

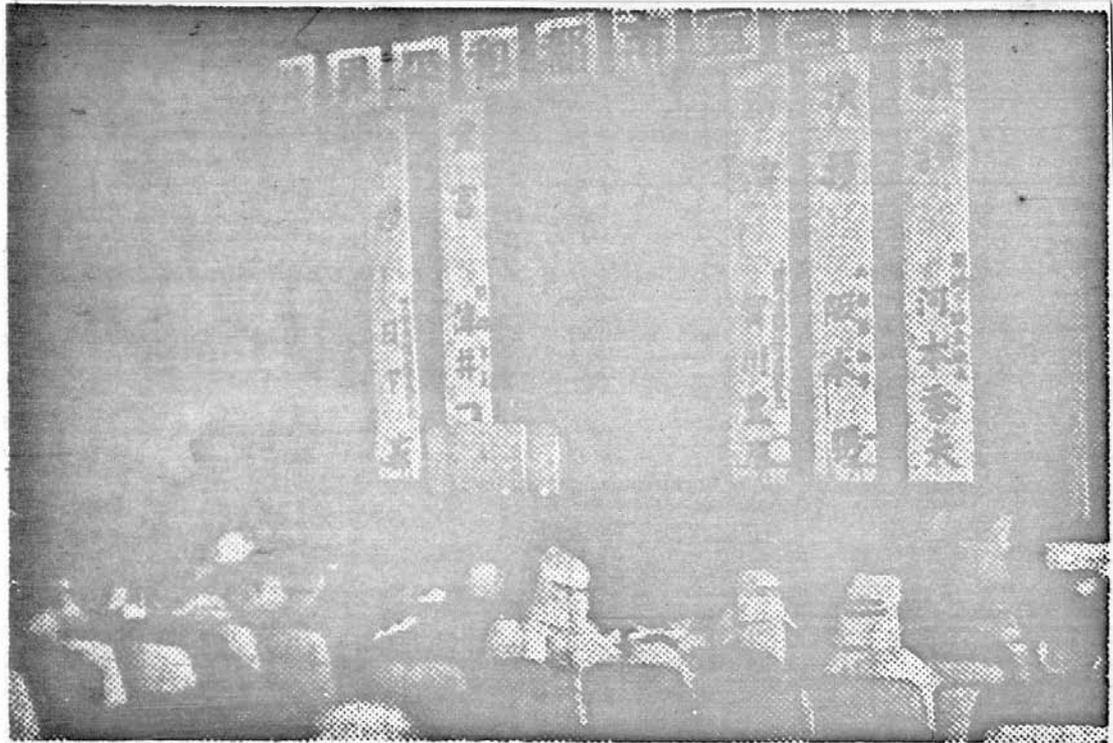
平和への願いこめ

尼崎市 世界平和都市宣言

世界連邦建設運動に参加し、人類の永久平和をねがう「尼崎市世界平和都市宣言大会」が三日午後六時から尼崎市文化会館で開かれた。この平和都市宣言は全国で二

十六番目、兵庫県下では初めてで四月二十五日の尼崎市公会議で議決したもの。大会には市民約千人が樂り、とくに学生、各宗教団体からの参加が目立っていた。

尼崎市長在職時代市民の署名二万を集め、この運動を遂げた阪本兵庫県知事、日下神戸地裁尼崎支部長のあいさつで尊をあげた。阪本知事は「兵庫県の東、



尼崎市世界平和都市宣言大会会場で阪本知事のあいさつ

尼崎で人類の永久平和をねがう火の手が上がったことは感激にたえない。これをキッカケに県下の各市町がこぞって平和宣言し兵庫県が全国初の平和宣言のできる日を祈っている」と述べた。

また世界連邦建設同盟副会長賀川豊彦氏（尼崎市顧問）は「人類を恐怖のどん底におとしられている核兵器の禁止、戦争の禁止は世界連邦の建設なくしては実現できない。ヨーロッパではこの運動に共鳴したオランダなど六国が自由に往来し手を結び合っているが、アジアでは、まず日本が平和国家を宣言、近くの国々と手を結び世界連邦建設につくしてゆきたい」と話した。

このあと薄井尼崎市長が次の世界平和都市宣言文を朗読、同市

長の「世界平和都市の尼崎市方
案」の三唱で大会を終えた。
宣言文 尼崎市は世界の恒久平
和を維持し、人類の共存福祉を急
願する世界平和都市たることを宣
言する。

賀川豊彦氏も講演

神戸生活協組 盛大に 35 周年記念式

百万市民に親しまれている神戸生活協同組合（武内勝組合長、本部生田区中山手通三ノ四九）の創立三十五周年記念講演とだんらんの会は二十五日午後一時から生田区下山手通織維会館で行われた。組合員の家族ら約八百人が集り、組唱歌合唱で幕を開き、来賓祝辞、功労者表彰のあと、生みの親賀川豊彦氏の講演を聞いた。このあと NJB 公開録音「ノーベル歌のびっくり箱」と映画「歌祭タヌキ合戦」の上映があり和気あいあいのうちに午後五時すぎ終わった。

一方、別室では賀川氏をはじめ武内組合長、湧井専務理事や理事の田中俊介（灘生協組合長）三浦清一（県議）顧問の田中卯三郎（甲南汽船社長）三沢三蔵（日中友好協会）監事の水谷一夫（神大教授）小泉ハツセさん（同生協家庭会会長）ら十二人が集り、創立以来の苦心談、失敗談あれこれを語りあった。

賀川氏は「協同組合運動も英国にみられるように家具や労働服の自己生産にまでこぎつけねばならない。労働金庫を中心とする生命保険共済を行い、余剰金で働く人の住宅を建て、生活協同組合を育てる資金としたい。だが、このためには私の命は足りないから、若い人たちがしっかりやって下さい」と呼びかけた。

平和への願いこめ

尼崎市 世界平和都市宣言

世界連邦建設運動に参加し、人類の永久平和をねがう「尼崎市世界平和都市宣言大会」が三日午後六時から尼崎市文化会館で開かれた。この平和都市宣言は全国で二十六番目、兵庫県下では初めてで四月二十五日の尼崎市会本会議で議決したもの。大会には市民約千人が集り、とくに学生、各宗教団体からの参加が目立っていた。尼崎市長在職時代市民の署名二万を集め、この運動を進めた阪本兵庫県知事、日下神戸地裁尼崎支部長のあいさつで幕をあけた。阪本知事は兵庫県の東、尼崎で人類の永久平和をねがう火の手が上がったことは感激にたえない。これをキッカケに県下の各市町がこぞって平和宣言し兵庫県が全国初の平和宣言のできる日を祈っている」と述べた。

また世界連邦建設同盟副会長賀川豊彦氏（尼崎市顧問）は「人類を恐怖のどん底におと

しいれている核兵器の禁止、戦争の禁止は世界連邦の建設なくしては実現できない。ヨーロッパではこの運動に共鳴したオランダなど六国が自由に往来し手を結び合っているが、アジアでは、まず日本が平和国家を宣言、近くの国々と手を結び世界連邦建設につくしてゆきたい」と話した。

このあと薄井尼崎市長が次の世界平和都市宣言文を朗読、同市長の「世界平和都市の尼崎市万歳」の三唱で大会を終えた。

宣言文 尼崎市は世界の恒久平和を維持し、人類の共存福祉を念願する世界平和都市たることを宣言する。